

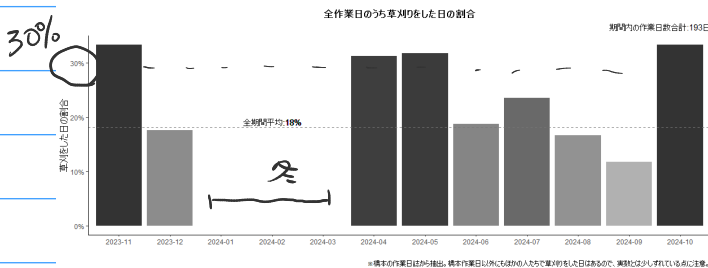
# 都道府県別 草刈の大変さランキング

2024.10.27 研修生 113号

背景 農作業を始めて、ほぼ1年が経ちました。この間様々な経験をさせてもらってますが、一番大変で身にしみているのは、草刈り作業です。なにが大変かといえば、生産活動ではないこと。これも希少生産性を下げているなあと。来年から独立するので、何とかしたいところである。ということで今回は、まずは現状把握。全国のあぜの広さを3パターンに分けてみました。

## 前提

まず、この1ヶ月で僕自身が草刈りをした回数と日誌のデータからカウントしてみました。

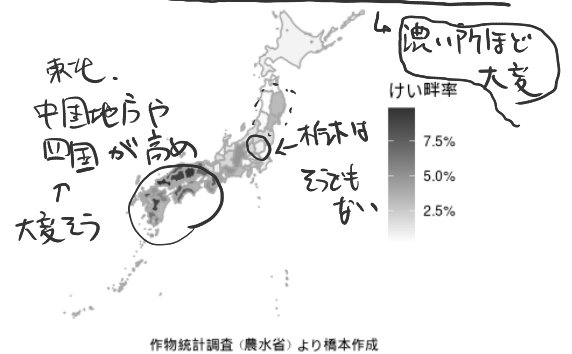


だいたい冬を除くと、3~4日に1回はどこかで草刈りしていました。

## ランキング① 「本地(生産面積 あたり)のあぜの広さ」

都道府県別けい畔率(畑地のみ、2022年比較)

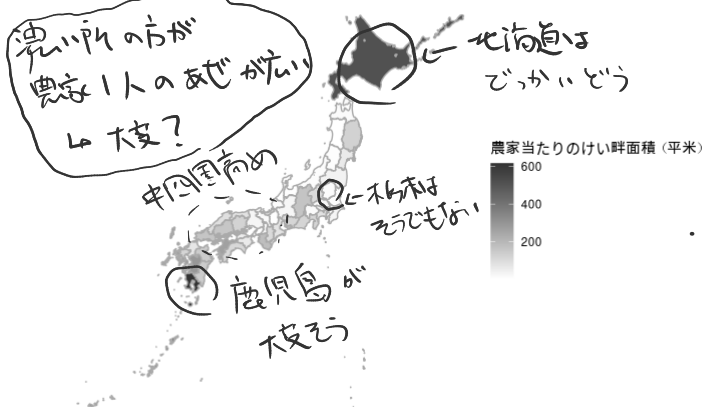
※けい畔率: 本地(作付けできる部分)に対するけい畔の広さ



## ランキング② 農家数に対するあぜの広さ

都道府県別 農家当たりのけい畔面積(畑地のみ、2019年比較)

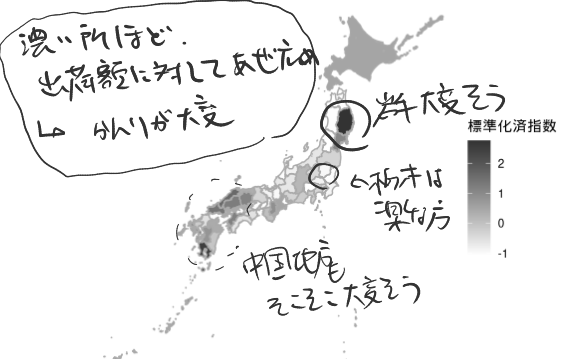
(面積30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家)の数値を利用。



けい畔面積は作物統計調査(農水省)、農家人口は農業構造動態調査(同)より機本作成

都道府県別 農産物産出額あたりのけい畔面積(畑地のみ、2022年比較)

\* 農産物産出額: 米を除く耕種の産出量合計を利用。



けい畔面積は作物統計調査(農水省)、農産物産出額は生産農業所得統計(同)より機本作成

## まとめ

- 。 栃木は梨な方だった。(もちろん、単純な面積比較にすぎない。)
- 。 逆に言えば、中国地方とか太平洋側の東北地方とかには、大変だからこの農家の工夫とか、あるかな。探しに行きたい。
- 。 抑草技術とか、も、と知りたい。生産活動になるべく注力したい。